

雲南市行財政改革大綱の概要図

社会環境の変化

- 地方分権型社会への移行
- 少子・高齢化の進行
- 市民活動の活発化、環境重視社会への移行
- 高度情報化の進展
- 厳しい財政状況（交付税改革、公債費の増）

合併による雲南市のスタート

- 新しいまちづくりに向けた改革のチャンス
- 合併後の市政の早期一本化

これからの変革の時代に対応できる新しい行政の仕組みづくりが必要

雲南市行財政改革大綱

- 理 念** : 市民が主役の自治
- 目 標** : 「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」
をめざし、住民と行政が協働するまち
- 基本方針**
1. 市民の総力の結集と職員の意識改革
 2. 情報公開の徹底
 3. 財政の健全化

改革の5つの柱

市民と行政との協働によるまちづくりを進めます

- ① 市民との情報の共有を図ります
- ② 市政への市民参加を進めます
- ③ 市民活動を支援します

市民本位の視点でサービスを見直します

- ① 市民の視点でサービスを見直します
- ② 市民サービスの質を高めます
- ③ わかりやすい事務手続に改善します
- ④ 公共施設のサービス向上を図ります
- ⑤ 外部委託を進めます

適正な財源確保に努め、将来に向けて継続可能な財政運営を行います

- ① 市税等の歳入を確保します
- ② 受益者負担の適正化を進めます
- ③ 地方債の借入を抑制します
- ④ 内部管理経費を徹底して削減します
- ⑤ 施策、事業及び補助金等を見直します
- ⑥ 公営企業及び特別会計の健全化を図ります
- ⑦ 効果的かつ自律的な予算編成方式を確立します

時代の変化に対応できる行政の仕組みをつくります

- ① 行政評価制度を導入します
- ② 総合行財政システムを確立します
- ③ 組織機構の見直しと定員管理の適正化を進めます
- ④ 給与制度の見直しを進めます
- ⑤ 公共施設の適正配置に向けた見直しを進めます
- ⑥ 第三セクター等の見直しを進めます
- ⑦ 広域行政への取り組みを進めます
- ⑧ 電子市役所への取り組みを進めます

行政課題に迅速に対応し、市民に信頼される職員をめざします

- ① 市民に信頼される職員をめざします
- ② 待遇日本一をめざします
- ③ 課題に柔軟に対応できる人事制度をつくります
- ④ 風通しのよい職場環境をつくります

聖域を設けず 計画的に 市民に公表しながら 全庁を挙げて 決断力をもって 迅速に取り組みます